

ポスト 街 とやま

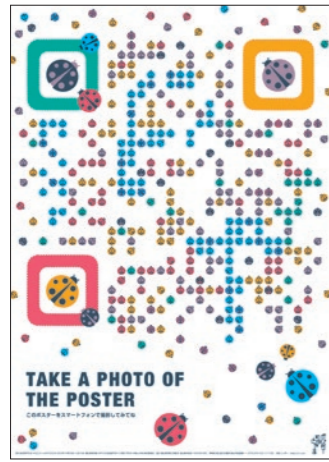
第14回世界ポスタートリエナーレトヤマ2024 IPT2024 応援ポスター

テーマ「富山県美術館までの地図」

●主催
「ポスターの街・とやま」実行委員会

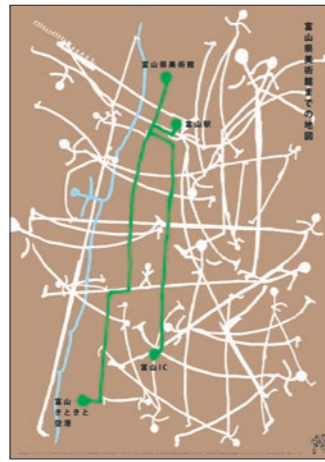
●協力
富山県印刷工業組合

〔朝日印刷(株)・キクラ印刷(株)・北日本印刷(株)・(株)すかの印刷・(株)チューエツ・
とうざわ印刷工業(株)・富山スガキ(株)・(株)中村・(株)ニッポー・(株)山田写真製版所〕
富山県洋紙会・TOYAMA ADC



観堂 絵美

太陽や天に向かって上へ上へと羽ばたく「お天道様の虫」こと「てんと虫」を使って、富山県立美術館HPのアクセスマップへと誘うQRコードをデザイン化しポスターにしました。



久保 美穂

富山県美術館までの地図を「人」で表現しました。



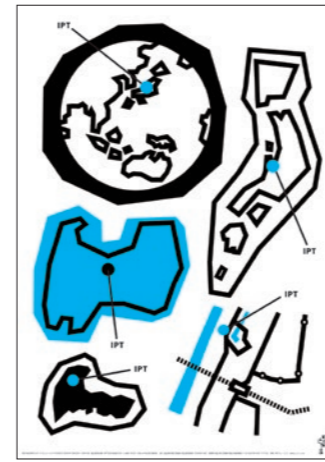
久保田 光明

真っ直ぐ進めば会場に辿り着く場所に貼る地図。



高嶋 鮎美

周辺に水辺の多い富山県美術館を川と運河だけで地図化しました。その特徴的なシルエットからは、水に囲まれた場所に建っていることがよくわかります。



田村 穂乃

IPTはここです



寺越 寛史

後ろには神通川といたち川、前には美しい富岸運河。河川に挟まれた美術館の立地が海に浮かぶ島に見えました。冒険の島？魔王が巢食う城？美術&アートのワクワクした心境をRPG風のMAPで表現しました。



橋本 麻理子

富山駅周辺から美術館までの地図を星座で作ってみました。河川や新幹線が面白いアクセントになりました。



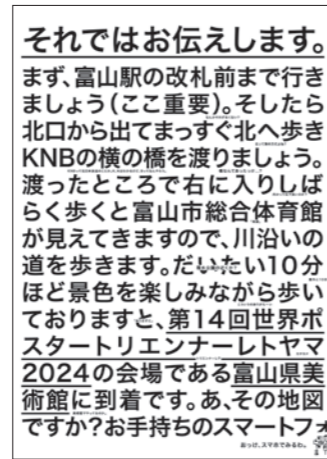
羽田 純

富山県美術館の座標 (PIN) を示しました。QRコードは記憶できませんが、座標ならギリなんとかかならず。どこにいても、もう迷いません。



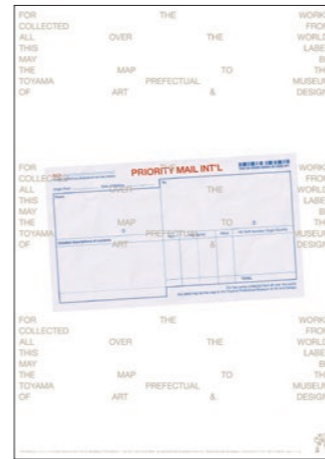
林 久美

IPTは、能登半島の付け根の富山県美術館で開催されます。本当に近いのです。地図を見るまでもありません。



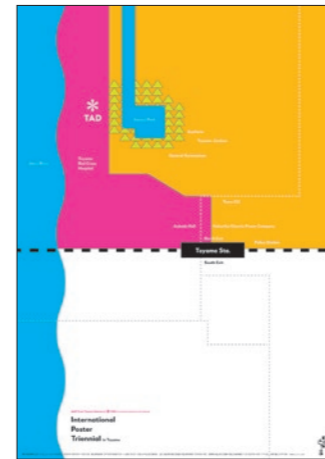
平野 暉

地図はとても便利な発明です。このポスターのように主観的な感覚に基づいてではなく、直感的に情報を伝えることができるからです。さあ地図を見ながら、富山県美術館まで行ってみましょう。



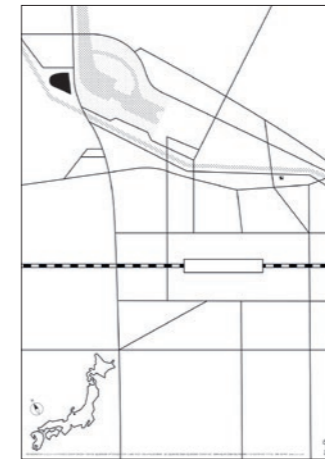
二上 晴君

自らの意思で移動できる我々とは違う、世界中から集められるポスターたちにとっての「地図」とは何かを考えました。



古谷 浩司

地図であり、ポスター。たどり着けなくもない最低限の地図機能と部屋に飾るに程よい色面構成のポスターとした。



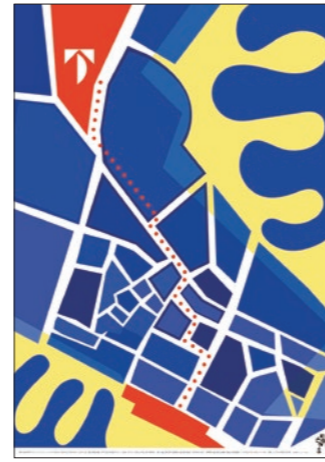
宮田 裕美詠

文字がない地図です。どこの国の人でも、この地図があればなんとか美術館にたどり着けることを願ってデザインしました。



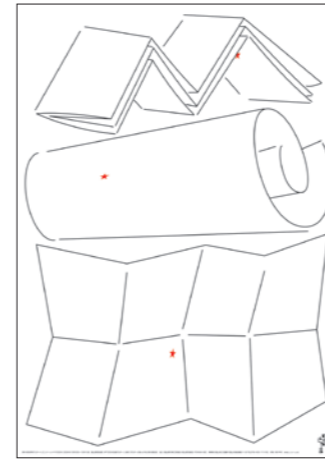
山口 久美子

IPTは世界中からポスターが集まると知っていますが70以上もあるなんて、本当にすごい。集まる数もすごい。世界から富山へいく地図です。



岡田 真寿美

富山駅を出て、赤い点線を辿るとIPTの会場、富山県美術館に到着します。切り絵のような世界観を作ってみました。



柿本 萌

折り畳んだ地図、丸めた地図、広げた地図



門嶋 隆裕

本当に見に行ってもらうために、本当に役に立つポスターを目指しました。二次元バーコードにアクセスすれば、美術館までのマップが表示され、世界中どこからでも訪問可能になります。近代技術に感謝です。



金森 健司

わかりやすい地図とはどんな地図なのか。言葉よりも目で判断の方が正確で理解しやすい。よく晴れた日に実際に現場に行き、少し歩いては写真を撮る。これを繰り返して撮った写真をつなぎ合わせてポスターを作った。